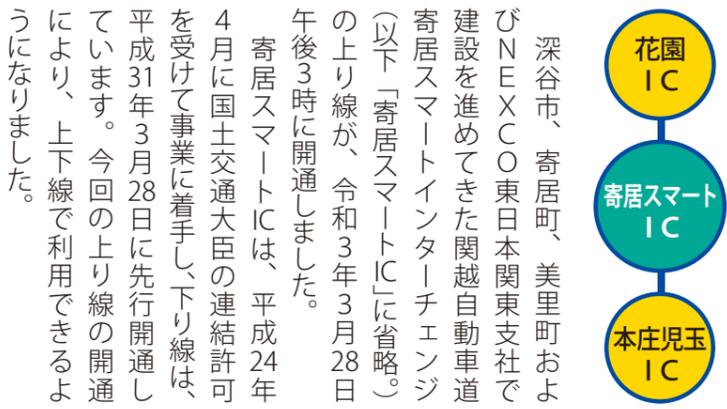


寄居スマートインターチェンジ 3月28日全面開通!!



期待される整備効果

寄居PAは、関越自動車道の花園ICと本庄児玉ICのほぼ中間（IC間距離約13・5km）に位置し、開通により次の整備効果が期待されます。

- **地域経済の活性化と雇用強化**
物流効率化ならびに企業進出促進が期待できます。また、高速道路へのアクセス性を活かした企業誘致により、地域経済の活性化と雇用強化が図られます。
- **交通利便性の向上と渋滞緩和**
地域住民などの交通利便性が向上します。さらに、交通車両の分散が図られ、渋滞緩和が期待されます。
- **災害に強い地域づくりへの支援**
災害発生時の大動脈となる高速道路の出入口が確保されることにより、周辺地域からの物資輸送や人命救助など、災害時においても大きく貢献します。



下り線通り初め



上り線通り初め

開通に先立ち、当日は午前10時から上り線ゲート付近（深谷市本郷地内）で開通式を開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開通式は関係市町のみで行われ、小島深谷市長、花輪寄居町長、原田美里町長の3名がテープカット、通り初めを行い、寄居スマートICの全面開通を祝いました。

軌跡を辿る

「寄居PAに連続するICがあれば、地域の活性化につながる」。当時の岡部町長の提言から、関係する首長・県諸公務員・代議士が寄居町役場に集まったのが、平成16年の年末。以来、16年後ようやく全面開通しました。

● 用地交渉

「先祖代々の土地を将来のために役立ててほしい」という肯定的な声や、「整備した農地をなぜ高速道路に」という否定的な声もありました。担当者・支援者は、「美里町の将来のために」という強い熱意を持って、地権者への説明会を重ね、理解を求めました。理解していただいた地権者がいたからこそ開通に至ったのです。



● アクセス道路の整備

寄居スマートICを建設するにあたり、県道からのアクセス道を整備する必要がありました。多額の費用が生じて、交通量や安全を考えた整備をしなれば許可が得られませんでした。



町道1級10号線

軌跡と奇跡

少しずつ着実に歩むなかで、思わぬ奇跡が起こりました。それは、埼玉県企業局による産業団地の造成です。

これまで美里町は農業振興でまちづくりをしてきたため、ほぼ全域が農業振興地域であり、農地の転用が厳しく制限されていました。人口の減少とともに農業の後継者も減少し、農地をどのようにしていくのが問題となっています。

未来を考える

16年の歳月を経て全面開通した寄居スマートIC。今後は、役場から松久駅を結ぶ地域において地権者の理解を得て、「地域活性化施設」の整備やお店などの必要な施設を誘致して、新しいまちづくりを進めます。軌跡を辿り未来を考えることで、新たな発見が生まれます。ぜひ、寄居スマートICをご利用ください。



寄居スマートICのご利用方法

- 寄居スマートICはETC専用のICです。
- ご利用の際の注意事項です。
 - ・ ETC車載器にETCカードを挿入して通行してください
 - ・ ゲートの手前で必ず一旦停止してください
 - ・ ゲートが開かない場合はインターホンで係員にお知らせください

